

聖籠町総合計画審議会 第2部会（福祉＋教育・文化）

第3回議事要旨

日 時	令和7年10月14日（火） 14時00分 ～16時00分
場 所	聖籠町役場2階 第1会議室
出席委員	金山委員（部会長）、青木委員、田中委員、安尻委員、高橋委員
事務局	勝見保健福祉課長補佐、和田町民課長補佐、阿部長寿支援課長補佐、大野子ども教育課長補佐、阿部教育未来課副参事、諏江図書館副参事、飯沼社会教育課副参事
次 第	<p>1 開会</p> <p>2 部会長 あいさつ</p> <p>3 議事</p> <p>（1）素案の検討（第3章94ページ～104ページ）</p> <p>① 資料No.1 第3章Ⅱ 情報化社会を切り拓く子どもの育成（第3章94ページ～99ページ）</p> <p>② 資料No.2 第3章Ⅲ 教育環境の整備・充実（第3章100ページ～104ページ）</p> <p>4 その他 第4回 第2部会（福祉＋教育・文化）の日程連絡</p> <p>5 閉会</p>
要 旨 （検討内容）	<p>議事(1)</p> <p>○ 事務局から第3章「Ⅱ 情報化社会を切り拓く子どもの育成（第3章94ページ～99ページ）」～「Ⅲ 教育環境の整備・充実（第3章100ページ～104ページ）」について説明</p> <p>説明者：勝見保健福祉課長補佐、和田町民課長補佐、阿部長寿支援課長補佐、大野子ども教育課長補佐、阿部教育未来課副参事、飯沼社会教育課副参事</p> <p>～説明後の検討意見～</p> <p>○【第3章「Ⅱ情報化社会を切り拓く子どもの育成」】</p> <p>『1 科学技術の進展に対応できる力の伸長』について</p> <p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員と児童双方における ICT リテラシー教育の不足が課題。これまでの「プログラミング教育推進」に加え、より包括的な情報活用能力の育成が求められている。 ・ICT教育の重点を「情報活用能力の向上」に転換し、日常的にICTを活用した学びの定着を図る。教職員のICT研修や支援員（1名）の継続配置を行い、実践的な技能育成として「タイピングコンテスト事業」を導入することで、キーボード入力技能を高める。端末の予備機確保と故障対応を明文化し、5年更新制で町費により安定運用を図る。 <p>【委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ICTリテラシー」の用語が理解しづらい。 →平易な表現を検討するとともに、注釈を付して対応する。 ・職員だけでなく、子どもの情報リテラシーの視点を入れることはできないか。

<p>要 旨 (検討内容)</p>	<p>『2 世界とつながる力の伸長』について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界とつながる力について、外国語能力のみを重視した学びになりがち。地域の文化や歴史を基盤にした「自分たちの地域を知り、世界とつながる力」を育てる視点（グローバル）や異文化を受け入れる教育という視点が不足している。 ・英語学習の成果指標について、町では英検受験料の補助を行っているため、英検3級レベル以上という「到達度」とは別に、挑戦する人を増やすという意味で受験者数や補助申請者数を指標としたらどうか。 ・町立幼稚園と認定こども園で、ALT配置や教育環境に差があり、子どもたちの英語教育機会に格差が生じるのではないか。 <ul style="list-style-type: none"> →幼稚園の特色の一つとして、英語教育に取り組んでおり、幼稚園は園舎が老朽化していることもあり、人気が低迷している中で、充実した幼児教育を展開していることがアピールポイント。それぞれの園において、特色ある教育を展開し、質の高い教育を受けられる体制を整える。 <p>『3 子どもたちの主体的な社会参画』について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域教育プログラムの内容がHP上にほとんど載っていない、一般の保護者への情報発信が不足している。 <ul style="list-style-type: none"> →「地域教育プログラム」についての説明を追加し、情報発信方法を改善できるか検討する。 ・P6「協働的な学び」や「主体的・対話的で深い学び」といった新しい教育概念の理解が住民に浸透していないが、どういう背景で出てきたか、前段階の説明があるとよいのでは。 ・P7 施策目標（人の役に立つ人間になりたいと思う割合）について、目標値の記載の仕方が目標を下げて設定しているように見えるため修正してほしい。 <ul style="list-style-type: none"> →全国学力学習状況調査データの「全国平均値」を併記して分かりやすく記載する。 <p>『4 多様な子どもたちへの深い学びの提供』について</p> <p>【事務局】</p> <p>施策名を「多様な子どもたちへの深い学びの提供」に変更し、インクルーシブ教育体制の構築を進める。学力指標を「自分で学び方を考え、工夫している」と回答した割合に転換し、全国平均を上回ることを目標とする。教員の働き方改革を同時に進め、授業改善と多様な学びの推進を両立させる。</p> <p>【委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P8（多様性の包摂）「インクルーシブ教育システム」という用語が難しい。 <ul style="list-style-type: none"> →平易な言葉への置き換えを検討し、齟齬が生まれないよう注釈を付す。 <p>○【第3章「Ⅲ 教育環境の整備・充実」】</p> <p>要 旨 (検討内容)</p> <p>『1 施設の経年劣化等への対応』について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状と課題、基本方針、主要事業のそれぞれにおいて、「遠距離からの児童生徒の通学
-----------------------	--

負担の軽減対策」や「学校運営給食事業」が含まれているが、「施設の経年劣化等への対応」とどう関連しているか分かるように記載してほしい。

『2 支援を必要とする児童生徒への対応』について

・現状と課題「発達障害の子どもたちの増加に伴い保護者や学校現場からのニーズが高まっていることから」とあるが、このニーズについて記載した方が分かりやすい。

『3 学校内外での安全確保への対応』について

・現状と課題の「防犯カメラ」について、「現在のところ新たに設置する予定はありませんが」という記載は今後5年間1台も設置しないことと受け取れるため削除すべき。

・施策目標「防犯カメラ維持管理台数」について、「撮影不可台数0」とするのではなく、録画可能な台数・日数を100%にする等、別の算出方法に修正したらどうか。故障しているかどうかの検査は年数回しか行わないのであれば、もう少し定期的にチェックする必要があるのではないか。

以上（次回は11月4日開催予定）